

第2回 二輪車のナンバープレートの様式の見直し及び  
希望ナンバー制導入に係るワーキンググループ  
議事概要

1. 日 時：令和5年9月4日（月） 15：00～16：10
2. 場 所：中央合同庁舎3号館11階 特別会議室
3. 出席者：浅井委員、岡安委員、北添委員、小松委員、玉虫委員、藤村委員

※五十音順

4. 議事（概要）

- (1) ナンバープレートの新様式について、総合的に検討した結果、方策案3—②の方向で詳細な検討を進めることとした。
- (2) システム（MOTAS）の改修内容等について、システムの運用・保守を行っているシステムベンダーから説明があった。
- (3) 資料1～4について説明し、議論を行った。

（委員からの主な意見）

- ナンバープレートの視認性、製造工程への影響、運用可能年数等を考えると、方策案3—②が一番妥当だと考える。
- 分類番号で一連番号と希望番号のすみ分けを行わないのは、製造メーカーとしては厳しい。一連番号は連続の番号を製造することで効率化等を図っているが、希望番号と混在すると、一連番号も希望番号同様の煩雑な作業となってしまう。  
一方、運用可能年数への影響が大きい「抽選対象の希望番号」は「一連番号・抽選対象外の希望番号」と分類番号で競合関係にないため、すみ分けの有無に関わらずほぼ全ての分類番号が活用出来る。以上の点から四輪車と同様に分類番号ですみ分けを行うことが望ましいと考える。
- 希望ナンバーのうち抽選対象番号については、四輪車同様、二輪車でも予め定めておき、ユーザーが確認できるようにしていただきたい。
- 二輪車でも四輪車同様、「インターネット契約ディーラー」によるインターネットからの希望ナンバーの申し込みについて可能にしていきたい。

以上